

☆☆ Society of Japan Clinical Dentistry ☆☆

東京 SJCD 第 2 回ステップアップミーティングのご案内

師走の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、来る 2017 年 2 月 5 日(日)に開催いたします『東京 SJCD 第 2 回ステップアップミーティング』につきましてご連絡申し上げます。

今回のステップアップミーティングでは午前に『Pre session』を初開催(別紙の詳細案内参照)する運びとなりました。午後の本会においても Pre session で立案された治療計画を会場全体でディスカッションしていく時間を設けております。また、今まで通り会員の先生方に多岐にわたる分野においてケースプレゼンテーションを中心とした発表をしていただきます。最後に松尾幸一先生に咬合再構成後の成功症例、トラブル症例も踏まえ皆様と治療の基本を再確認していきたいと考えております。ステップアップミーティングを通じて皆様の日々の臨床のステップアップにつながれば幸いと存じます。

なお、今回も東京 SJCD 会員同士の親睦を深めるためにステップアップミーティング終了後、懇親会を開催します。あわせて皆様お誘い合わせのうえご参加いただけますようお願いいたします。

日 時 : 2017 年 2 月 5 日(日) 10:00~16:55
Pre session 10:00~11:40 / 本会 13:00~16:55
懇親会:17:00~19:00
受付開始 : Pre session 9:30~ / 本会 12:30~
場 所 : お茶の水ソラシティ カンファレンスセンター RoomC

【タイムテーブル】

開場・Pre session 受付開始 9:30
開会 10:00

10:00~11:40 Pre session

休憩 11:40~13:00

本会受付開始 12:30

13:00~13:05 会長挨拶

13:05~13:45 添島賢一 先生 所属:代々木駅前歯科

演題:「すれ違い咬合に対し可撤性部分床義歯を用いて咬合再構成した一症例」

13:45~14:25 目代匡 先生 所属:ワタナベ歯科医院

演題:「重度歯周炎の患者に対して step-by-step で治療をした症例」

賛助企業ご挨拶、休憩 14:25~14:50

14:50~15:45 内野雄介 先生 所属:高橋歯科医院

演題:「安定したパーティカルストップと適正なアンテリアガイダンスの確立を目指した症例」

休憩 15:45~16:00

16:00~16:55 松尾幸一 先生 所属:中野デンタルクリニック

演題:「咬合再構成その後のトラブルから学んだもの-咬合治療の Key となるポイント-」

閉会 16:55

懇親会 17:00~19:00

- *東京 SJCD の会員は、入場の際QRコードが必要となりますので必ずご持参ください。
- *東京 SJCD の会員は無料で御参加頂けます。事前の予約等は必要ありませんので当日直接、会場へお越し下さい。
- *一般のビジターは Dr.3 万円・Dt.1 万 5 千円・Dh.9 千円となります。(予約不要)
- * 会員登録は入会された本人に限り有効です。例会・分科会等への代理参加は、同じ医院にお勤めでもお受け致しかねますのでご了承ください。
- ※講演中の撮影はご遠慮ください。

会場

お茶の水ソラシティ カンファレンスセンター RoomC (<http://solacity.jp>)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6
TEL 03-6206-4855

交通案内

JRをご利用の場合

- ・JR中央・総武線「御茶ノ水」駅 聖橋口より、徒歩1分

地下鉄をご利用の場合

- ・東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 B2出口1直結
- ・東京メトロ丸の内線「御茶ノ水」駅 出口1より、徒歩4分
- ・都営地下鉄新宿線「小川町」駅 B3出口より、徒歩6分



代々木駅前歯科 添島賢一

演題 「すれ違い咬合に対し可撤性部分床義歯を用いて咬合再構成した一症例」

略歴 2007年 日本歯科大学新潟生命歯学部卒業
2007年 福岡歯科大学 附属病院臨床研修医
2007年 東京 SJCD レギュラーコース受講 (4月コース)
2008年 福岡歯科大学 咬合修復学講座 インプラント学分野 医局員
2011年 添島歯科クリニック 勤務
2016年 上京

【抄録】 近年、条件の悪い欠損症例への対応は、効果的にインプラントを用いる事により、機能の向上や予知性を高める手法が多く用いられている。しかしながら、患者の諸々の条件でインプラントを用いる事が出来ずに、予後に不安を残す対応をせざるを得ない場合も少なくない。今回、咬合平面乱れ、高度骨吸収したすれ違い咬合の患者に対してパーシャルデンチャーにて顎位を模索し咬合再構成を行い、良好な結果が得られたケースについて発表させていただきます。諸先生方のご意見、ご指導宜しくお願い致します。

ワタナベ歯科医院 目代匡

演題 「重度歯周炎の患者に対して step-by-step で治療をした症例」

略歴 2009年 北海道大学歯学部歯学科卒業
2010年 東京医科歯科大学研修
2011年 医療法人社団同仁会 ワタナベ歯科医院勤務
2013年 東京 SJCD レギュラーコース受講

【抄録】 成人の約8割が罹患していると言われる歯周疾患、歯を失う原因としても約40%が歯周疾患だと言われています。私の臨床においても、保存の可否から補綴設計まで治療方針に苦慮する事が多くありました。その様な国民病とも言われる歯周疾患に罹患した患者に対して、SJCD より学んだシーケンスに従って治療にあたった症例を発表させていただきます。

高橋歯科医院 内野雄介

演題 「安定したパーティカルストップと適正なアンテリアガイダンスの確立を目指した症例」

略歴 2010年 日本歯科大学 卒業
2011年 高橋歯科医院 勤務
2015年 SJCD レギュラーコース受講
2016年 SJCD マイクロコース エンドコースI 受講

【抄録】 昨今、歯科界には様々なトレンドが生まれ術式や材料は大きな発展を遂げています。しかし治療を成功に導くために最も重要なことは、基本である診査・診断と包括的な治療計画の立案・実行であり、それが永続性のある治療へ繋がると考えます。今回の症例は、57歳女性、欠損部の回復を主訴に来院されました。欠損がある患者に対して、「現状の把握」「原因の究明」「問題点の抽出」を考察。残存歯の保全と機能回復を目的として立案したトリートメントプランに基づき、取り組んだ全顎治療の症例をご報告させていただきます。

現在治療途中ではありますが、今後の最終補綴前に皆様にご意見を頂ければ幸いです。

中野デンタルクリニック 松尾幸一

演題 「咬合再構成その後のトラブルから学んだものー咬合治療の Key となるポイントー」

略歴 1970年 東京都国立市出身
1995年 日本歯科大学卒業
1996年 東京 SJCD 入会
2000年 東京都中野区 中野デンタルクリニック開設

【抄録】 修復治療終了後、メンテナンスに移行した患者さんを観察していると見えてくるトラブルがあります。治療当時ベストを尽くしたと考えられる治療でも、少なからずトラブルが出てくることもありますし、何も考えず行った治療がたまたまうまく経過していることもあります。皆さんと情報を共有しつつ、治療の基準、原理原則、方向性を今一度確認していきたいと考えています。